

令和 7 年度第2回 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会 議事要旨

(1) 概要

開催日時	令和 7 年 10 月 16 日(木) 午前 10 時から午前 11 時 51 分まで
開催場所	荒川区役所 産業経済部会議室
出席者 (敬称略)	<p>(協議会委員)</p> <p>委 員 遠藤 智久 委 員 丸山 慎二郎 委 員 鈴木 あづさ 委 員 竹前 友勝 委 員 野城 菜帆 委 員 田中 類 委 員 細谷 誠 委 員 山田 章博</p> <p>(区側出席者)</p> <p>荒川区長 滝口 学 産業経済部長 小林 弘幸 産業振興課長 山下 英男 経営支援課長 中野 大志 就労振興課長 伊藤 大介 観光振興課長 渡部 雅人</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>(配付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1 地域経済活性化に関する分科会における取組状況 ・ 資料 2 観光プロモーションに関する分科会における取組状況 <p>(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料 1 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会委員名簿 ・ 参考資料 2 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会委員名簿 分科会別 ・ 参考資料 3 会議の開催スケジュールについて

(2) 区長挨拶

挨拶	開会にあたり、荒川区・滝口区長から挨拶があった。
(要旨) ・上半期での各分科会の検討に感謝を申し上げる。本日もよろしくお願いしたい。 ・区としても、引き続き、地域経済の活性化、観光プロモーションの推進に向け取り組んでいく。	

(3) 議事

議題	各分科会の取組状況について
議事内容	
・遠藤分科会長から、地域経済活性化に関する分科会の取組状況について、また、丸山分科会長から、観光プロモーションに関する分科会の取組状況について、説明がなされた。	
(地域経済活性化に関する分科会 報告要旨) ・区の強みであるモノづくり企業への支援策や更なる情報発信について ・スタートアップ企業への支援策と区内企業との交流促進について ・「モノづくり企業のネットワーク構築」の提案と主旨説明	
(観光プロモーションに関する分科会 報告要旨) ・楽しいことを正しくしていく「人と人がつながる観光」について ・「地域の魅力」や「つながり」による関係人口の拡大と観光振興について ・事業試案10案の提案と主旨説明	

議題	意見交換
議事内容	
・各分科会の取組状況等について、意見交換が行われた。	
(各委員の主な発言内容) ○委員 ・モノづくり企業の振興やスタートアップ企業のサポートのために、企業間の情報交換やネットワークづくりを推進するという提案は、とても良い。 ・スタートアップ企業にとって、コワーキングスペースは非常に利便性が高い。拠点となる場所については、商業店舗の使用していない時間帯での活用、分散型の実施など、創意工夫の余地はあるのではないか。	
○委員 ・区内には事業承継して企業を引き継いだ若い経営者も多い。企業間でのネットワーク形成は、こうした若い経営者を支える仕組みにもなる。提案は、この意味でも効果的だ。	

- ・荒川区は、海外見本市への出展補助など、他区と比べても手厚い企業支援策がある。ホームページのチャットボット案内の改良など、補助金等の案内を、企業のニーズを踏まえてより使いやすいものにするとより効果的である。

○委 員

- ・同業者の中には、補助金等の区の企業支援策についてよく知らず、活用できていない人もいる。このため、メッセージアプリを使って同業者同士で情報共有することもある。
- ・区はさまざまな企業支援策を実施しているが、効果的な広報や、相手に届く情報発信については、引き続き検討が必要だと感じる。

○委 員

- ・区内で事業を展開しているが、区の観光資源についてはあまり意識してこなかった。荒川区は交通利便性が高く魅力的なスポットも多い。親しみやすい地域性もあると感じる。
- ・提案資料にもあったとおり、地域の魅力を発信するイベントなどを通じて、地域が上がり、地域全体で盛り上がることは、方向性として非常によいと思う。

○委 員

- ・区内の観光スポットを大きな集客やビジネスにつなげるのは、なかなか難しいと感じる。
- ・まずは、区民が楽しめるイベントを「地域の盛り上がり」や「地域経済の循環」につなげていく。それを、区外からの集客につなげることが先であり、現実的だと思う。
- ・川の手まつりなどのイベントを、区の予算や人員を踏まえながら、改めて仕切り直して実施するのも一案である。そこに区内企業がつながることができれば理想的である。

○委 員

- ・提案のあったトークイベントの「荒川 TED」は、非常に魅力的である。現代は「人」にフォーカスする時代だ。観光スポットではなく、荒川区の「人」が主役となって観光プロモーションを進める、という提案がすばらしいと感じた。
- ・老若男女、誰もが自由に参加して短いプレゼンテーションをしていく。それを動画にして配信サイトで発信すれば、さまざまな視点で区の魅力を広く PR することができる。

○委 員

- ・トークイベントについては、区内の高校と連携開催して、実施プランを煮詰めていく予定だ。メディアを使った情報発信についても、効果的な方法を検討したいと考えている。
- ・区内企業では、いま、人手不足や求人難が大きな課題になっている。人手不足が経営難につながる時代であり、企業自身が対応策を進めていく必要があると思う。
- ・企業経営においては、会計や経営の知識に加えて、企業ブランディングの確立や、従業員のリスクリング支援など、いまの時代に合わせた取り組みを進める必要がある。

○委 員

- ・荒川区は、依然としてモノづくり企業が比率として多い地域であり、それを強みにした企業連携や創業支援、区内への企業誘致を進めることはとても重要な視点だ。
- ・しかしその一方で、廃業もしくは休業状態の製造業企業が急速に増えている実態があるのではないか。こうした状況を踏まえ、休業の手前で頑張っている企業の経営力を引き上げる支援も、喫緊の課題だと考える。

(主な意見交換)

- ・新しい補助金制度など、行政の企業支援策については、企業交流会などに参加して口コミから情報を得ることも多い。企業ネットワークの仕組みづくりは、非常に有効である。
- ・地域イベントは、参加者に「楽しい」と感じてもらえる「仕掛け」があると、主催者も参加者も一緒に盛り上がる。イベントの盛り上がりが区外に波及していくのが理想である。
- ・近隣自治体では、フードフェスティバルがにぎわっている。もんじゃなどの地域の「食」や、特産品を活かしたイベントも検討してはどうか。
- ・楽しいイベントでお金が使われることが、地域経済の循環、地域の潤い、さらには継続的なイベント開催につながる。
- ・地域を盛り上げるイベントについては、大きな会場のイベントでなくても、たくさんのお店を周遊するといった方法もある。
- ・提案資料にある「スナック」については、整理すべき課題はあるが、イギリスの「パブ」のような社交場、ひいては交流スペースとしての役割が期待できるのではないか。
- ・地元を盛り上げるプロモーションや戦略が、まず必要と考える。ここからお金が地元で循環し、地元が潤うことが、地元への愛着やシビックプライドの醸成につながるのではないか。

(4) 区長閉会挨拶

挨拶	閉会にあたり、荒川区・滝口区長から挨拶があった。
(閉会挨拶要旨)	
<ul style="list-style-type: none"> ・本日も皆様から様々なご意見とご提案をいただいた。感謝を申し上げる。 ・ご提案については、具体的なロードマップを整理するなど、区として、実現に向けた可能性の検討を進めていきたい。 	

(以上)